

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和3年 3 月 9 日

地区名	小田切地区
事業名	「地域ふれあいの椅子整備事業（第2期）」
団体名及び 代表者名	(団体名) サークルみんなのいっぽ (代表者名) 松本 清子 (連絡先) 026-234-6095

■事業概要

当地区の急速な高齢化は顕著で、膝や腰を罹患する方が多い実態である。各地区の会合やおしゃべりサロン等の集会場での集まりにおいて、座ることが困難な方々が気軽に参加できるよう高座椅子を配備し、対象者の苦痛の軽減を図る。畳の公会堂での活動を支援し、住民同士の交流を深め福祉の向上に繋げる。昨年度に引き続き実施する。	【総事業費】 176,195円 【補助金額】 173,000円
---	--

【活動写真】



※資料等ある場合は添付する。(各地区の様子を別紙に添付します)

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

当小田切地域は、11地区から編成されており、公会堂や集会場は20か所以上にもなる。昨年に引き続き各区長から要望をとり、高座椅子の必要性を取りまとめた。多くの区は座ることが困難な方がおり、今年もさらに可能なら是非配備して欲しいと回答を寄せられた。地域への貢献度は100パーセントであるが、コロナ禍において会合数は減った。最低でも、各地区の各地で月に1度の定例会等で利用され、9地区に合計22脚を配備した。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■自己評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の実施		○		
事業の効果		○		
特記事項 (評価理由等)	量販の物品を採用したので、予定数量を配備でき各地区から感謝された。昨年不要の地区でも今年には要望を受け、高齢化に伴う高座椅子の利用は加速している。			

■今後の取組予定

サークルみんなのいっぽでは、地域のニーズをくみ取り、高齢化する地域住民の和やかで健やかな生活支援に繋がる活動を実施する。「ふれあいの椅子整備事業」については終了するが、福祉活動を基本に様々な活動に精進していきたいと考えている。

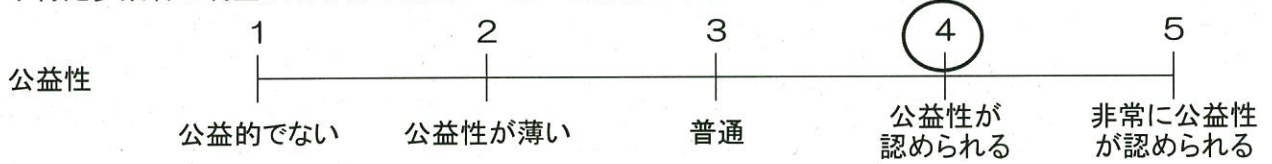
支所発地域力向上支援金 事業評価 (小田切支所)

事業区分

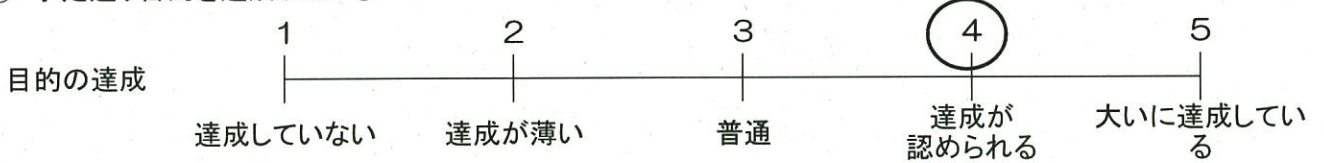
保健・福祉活動

評価項目

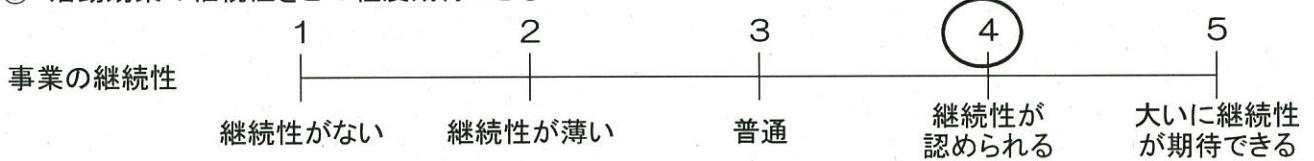
① 不特定多数者の利益また地域の利益につながる活動である



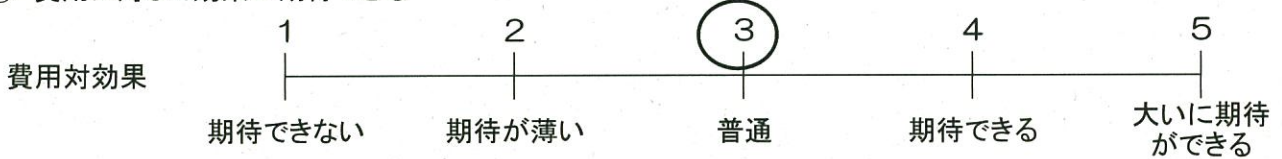
② 予定通り目的を達成している



③ 活動効果の継続性をどの程度期待できる



④ 費用に対して効果が期待できる



支所長の総合評価

本事業は、急速に高齢化が進む当地区において、膝や腰を罹患する方が多いという実態を踏まえて、地区の会合やおしゃべりサロン等で公会堂での集まりにおいて、座ることが困難な方々が気軽に参加できるよう高座椅子を配備し、対象者の苦痛を図る事業で、昨年度に引き続き2回目となる。

各区から、高座椅子を配備して欲しいとの要望を受けて、小田切地区11区のうち9区に22脚配備した。これからも、地域のニーズをくみ取り、高齢化する地域住民の和やかで健やかな生活支援に繋がる活動を続けて欲しい。